

1 - 1 北海道南西沖の最近の地震活動 (1996年5月～1997年4月 h 60km)
Seismic Activity around southwest off Hokkaido
(from May, 1996 to April, 1997 h 60 km)

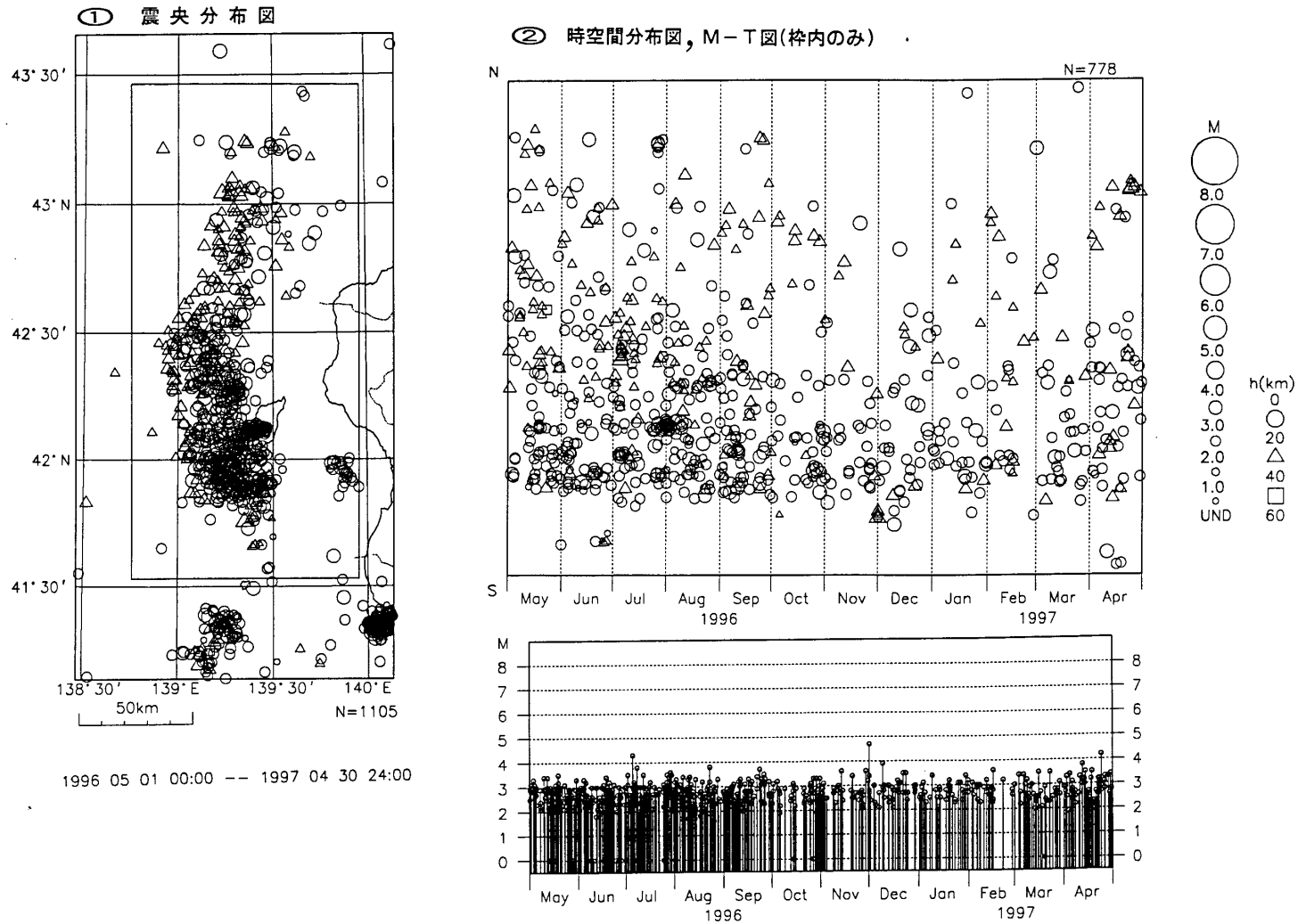
札幌管区气象台
気象庁地震予知情報課
Sapporo District Meteorological Observatory, JMA
Earthquake Prediction and Information division, JMA

最近1年間の「平成5年北海道南西沖地震 (M7.8)」の余震の発生状況を第1図に示す。余震域の北半分の領域で1996年10月頃から余震の発生が減ってきているように見える。一方、南半分ではほとんど変化がみられない。本震の発生直前からの活動状況を第2図に示す。1994年10月に地震観測網が変更され検知能力が変わった(第2図)ため、M3.3以上の地震が第2図には示されている。本震発生後、ほぼ4年を経過し全般的に余震は減ってきており、北側の領域の地震活動がより早く収まりつつある。余震活動の消長はあるものの、1996年10月からの活動の低下は広域でみられる。

参 考 文 献

- 1) 札幌管区气象台:北海道南西部の地震活動(1996年5月～1996年10月)連絡会報 57(1997), 5-8.

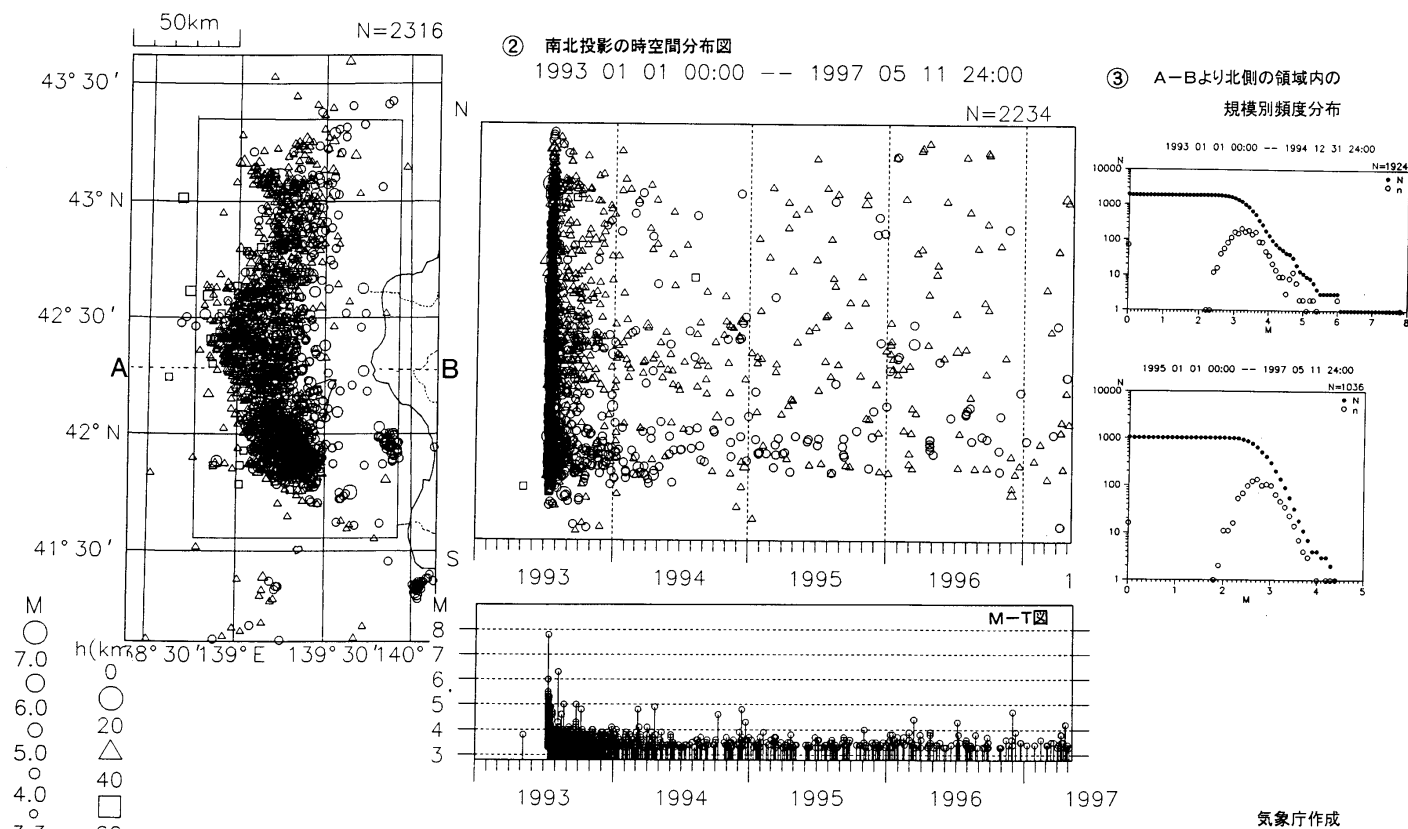
北海道南西沖の最近の地震活動 (1996年5月~1997年4月 $h \leq 60 \text{ km}$)



第1図 北海道南西沖の最近の地震活動 (1996年5月~1997年4月 $h \leq 60 \text{ km}$)。震央分布図, 時空間分布図とM-T図(枠内のみ)。

Fig. 1 Seismic activity around Southwest off Hokkaido (May, 1996-April, 1997, $h \leq 60 \text{ km}$). Epicentral distribution, space-time plots and M-T diagram of earthquakes in rectangular region.

北海道南西沖の地震活動(1993年1月1日~1997年5月11日)



第2図 北海道南西沖の地震活動(1993年1月1日~1997年5月11日M 3.3 h 60km)。震央分布図, 時空間分布図とM-T図(枠内のみ), 矩形領域のA-Bより北部の地震の規模別頻度分布(上:1993年~1994年,下:1995年1月1日~1997年5月11日)

Fig. 2 Seismic activity around Southwest off Hokkaido (January 1, 1993-May 11, 1997 M 3.3, h 60 km). Epicentral distribution, space-time plots, M-T diagram of earthquakes in the rectangular region, magnitude-frequency diagrams of the earthquakes in the rectangular region northward from A-B line (up: 1993 to 1994, down: January 1, 1995 to May 11, 1997).